

(様式 1-3)

いわき市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 26 年 11 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	202	事業名	小名浜港背後地津波復興拠点回遊性促進施設 整備事業	事業番号	◆D-15-2-2
交付団体	いわき市		事業実施主体 (直接/間接)	いわき市 (直接)	
総交付対象事業費	266,707 千円		全体事業費	266,707 千円	
事業概要					
<p>アクアマリンふくしま、いわき・ら・ら・ミュウ、小名浜三角倉庫が位置する小名浜港は、年間 250 万人が訪れる県内でも屈指の観光交流の拠点となっている。さらに、民間商業施設が建設されることにより年間 800 万人近くの利用者が見込まれている。小名浜港背後地開発における街づくり方針のひとつとして、港の賑わいを小名浜地区全体に波及させる街を目指していることから、復興の拠点となる港と市街地を緊急に整備する基幹事業と連携し、バリアフリー対策、各集客施設間の利便性・アクセス性を高め既成市街地との回遊性の強化、津波等の災害発生時の迅速な避難、円滑な避難誘導等を促進するための附帯施設を整備する。</p> <p>【事業概要】 ○小名浜港背後地地区 A=約 10.9ha E V N=3 階段 N=2 照明灯 N=56 箇所 (デッキ部及び階段部に設置) 避難誘導サイン</p> <p>【復興ビジョン】</p> <p>○取組の柱 3 社会基盤の再生強化 主な取組み: 被害の大きかった沿岸域等について、地域の意見を聴きながら、地域特性を活かした土地利用計画を策定します。</p> <p>○取組の柱 4 経済・産業の再生・創造 主な取組み: 産業・観光復興の拠点として、さらには本市の復興のシンボルとして、アクアマリンパークをはじめとした周辺地域の一体的な整備・再生に向けて積極的に取り組みます。</p> <p>【復興事業計画 (第一次)】</p> <p>○取組の柱 3 社会基盤の再生・強化 (1) 生活基盤の再生 取組名: 被災市街地復興土地区画整理事業 取組内容: 広範かつ甚大な被災を受けた市街地の復興に対応するため、それぞれの地域の復興ニーズに的確に対応し、被災市街地復興土地区画整理事業等により緊急かつ健全な市街地の復興を推進する。</p> <p>○取組の柱 4 経済・産業の再生・創造 (4) 復興のシンボルとしての拠点整備 取組名: 小名浜港周辺地域の復興 取組内容: 本市ひいては日本の復興のシンボルとなる小名浜港周辺地域の復興に向け、小名浜港背後地をはじめ、小名浜港漁港区やアクアマリンパーク、さらには既成市街地までの周辺地域を一体として捉え、国・県や民間団体・地域住民と連携しながら、整備・再生を図る。 当該エリアのうち、その中心に位置する小名浜港背後地については、土地区画整理事業により福島臨海鉄道貨物ターミナルの移転を行い、臨港地区と既成市街地を (都) 平磐城線で繋ぐとともに、その跡地 (都市センターゾーン) に民間活力を導入する。</p> <p>○重点施策 5 小名浜港周辺地域の一体的な整備・再生プロジェクト</p>					
当面の事業概要					
<p>&lt;平成 24 年度&gt; 津波復興拠点整備計画策定、都市計画決定、事業認可、用地取得、移転補償、調査設計</p> <p>&lt;平成 25 年度&gt; 用地取得、移転補償、津波避難施設設計</p> <p>&lt;平成 26 年度&gt; 貨物ターミナル移転工事、国合同庁舎移転工事、津波避難施設工事</p> <p>&lt;平成 27 年度&gt; 津波避難施設工事</p>					

東日本大震災の被害との関係
<p>当該地区は、東日本大震災の大津波により、区域の大部分が浸水し、壊滅的な被害を受けた。  <b>【国土交通省の直轄事業による調査結果：小名浜(市街地)地区】</b>          全壊・大規模半壊：308棟          半壊・一部損壊：321棟</p>
関連する災害復旧事業の概要
<p>港湾施設の復旧（小名浜港）等</p>

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	D-15-2
事業名	小名浜港背後地津波復興拠点整備事業
交付団体	いわき市
基幹事業との関連性	
<p>基幹事業と連携して、施設のバリアフリー化と各集客施設間の利便性やアクセス性を高め、既成市街地との回遊性、快適性、安全性の強化を図ることで、小名浜港背後地地区全体の賑わい創出し、復興に相乗効果を図る。また、津波等の災害発生時における安全で確実な避難、円滑な避難誘導、正確な避難指示、迅速な救助活動のための必要不可欠な附帯設備を整備する。</p>	

いわき市復興交付金事業計画 復興交付金事業等（いわき市交付分）

No.	202	事業名	小名浜港背後地津波復興拠点回遊性促進施設整備事業	効果促進事業	基本国費率(a)	4/5
-----	-----	-----	--------------------------	--------	----------	-----

(千円)

		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降	合計
事業費	総事業費(b+f)					273,374		273,374
	交付対象事業費(b)					266,707		266,707
	うち、市町村以外の者が負担する額を減じた額(C)					266,707		266,707
	うち交付金交付額(d) ○基幹事業の場合 (d) = a × b + (c - a × b) / 2 ○効果促進事業等の場合 (d) = 0.8c					213,365		213,365
	対象外事業費(f)					6,667		6,667
事業工程	交付対象事業					工事 (津波避難者用歩行者デッキ附帯施設等)		
	対象外事業					事務費		

復興交付金事業等に要する費用の算出に係る基礎資料

(単位:千円)

復興交付金事業等の名称/目的及び内容		交付金の算出方法			H27
事業名	小名浜港背後地津波復興拠点回遊性促進施設整備事業	工事費 (A)	266,707		
箇所名	小名浜港背後地	控除額 (B)			
事業認可告示年月日		交付対象事業費 (C)=(A)-(B)	266,707		
事業着手年度	平成23年度	基本国費率	4/5		
事業施行期間	平成24年度～平成27年度	交付額 (D)	213,365		
工事延長及び施行面積	A=10.9ha	摘 要			
事業完了予定期日	平成27年度	工種	数量	単位	金額
経費の配分		工事 (津波避難者用歩行者デッキ附帯施設等)	式	1	266,707
本工事費	266,707				
設計委託費					
用地費及補償費					
船舶及機械器具費					
工事費計 (A)	266,707	本工事費・計			266,707

(参考様式)

# いわき市復興交付金事業計画 復興交付金事業等工程表(平成27年度)

平成26年11月現在

※本様式は1-2①・②に記載した事業ごとに記載してください。

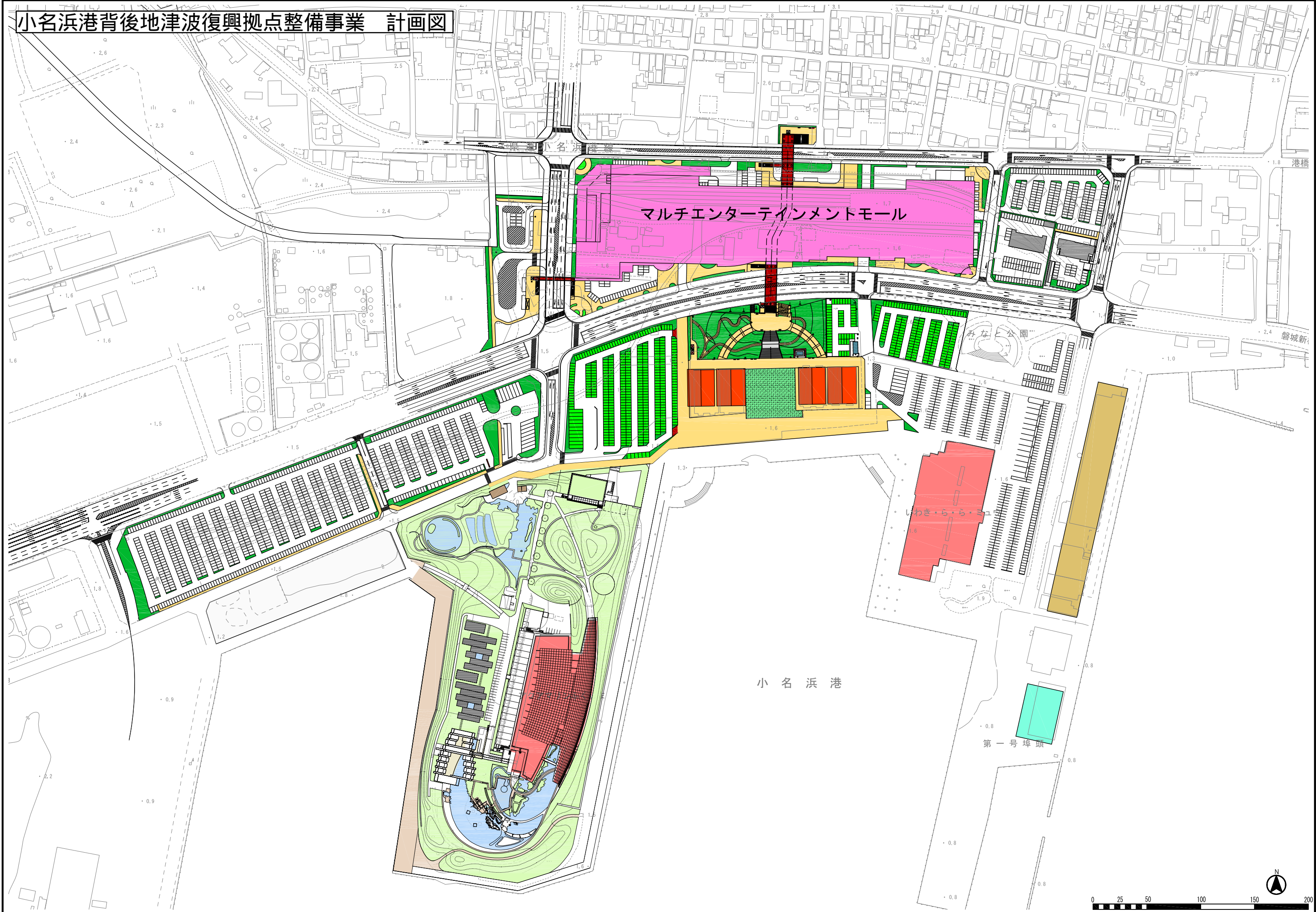
交付団体	いわき市	No.	202	事業番号	◆D-15-2-2	事業名	小名浜港背後地津波復興拠点整備事業	事業実施主体	いわき市
項目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期					
法定手続き・許認可等						● 計画変更 等			
地域等の合意形成									
調査・測量・設計									
用地買収									
移転補償									
工事					津波避難者用歩行者デッキ附帯施設等				
					民間施設整備工事 等(事業外)				

(注)上記項目について、実施予定時期を矢印で示してください。(なお、項目に該当するものがない場合は当該項目は記載する必要はありませんが、他の項目があれば、適宜書き換えて記載してください。)

(注)同一項目で複数の記載事項がある場合はずらして記載してください。

(注)平成24年度末までに終わらないものや、それ以降に実施するものについては、備考欄に終了時期や実施時期を記載してください。

小名浜港背後地津波復興拠点整備事業 計画図



マルチエンターテインメントモール

小名浜港

第一号埠頭

